

モッコク

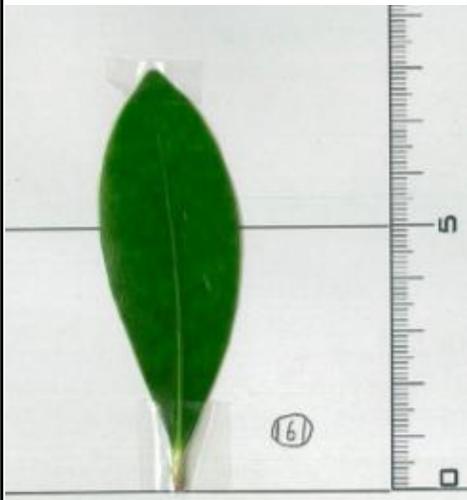
【くかく区画②⑤(161)】

<small>がくめい</small> 学名	<i>Ternstroemia gymnanthera</i> Bedd.	<small>ぶんるい</small> 分類	サカキ科モッコク属
<small>ぶんぷ</small> 分布	関東地方～沖縄	<small>じゅこう</small> 樹高	5～10m程度の常緑高木

〈特徴等〉

<small>なまえ</small> 名前の由来	・花の香りが、ランの仲間のセッコク(石斛)に似ているためと言われている。		
<small>は</small> 葉の特徴	① <small>じょうりよく</small> 常緑・ <small>らくよう</small> 落葉	② <small>こうよう</small> 広葉・ <small>しんよう</small> 針葉	
	③ <small>たいせい</small> 対生・ <small>ごせい</small> 互生	④ <small>たんよう</small> 単葉・ <small>ふくよう</small> 複葉	⑤ <small>きよしえん</small> 鋸歯縁・ <small>ぜんえん</small> 全縁
<small>かいかとう</small> 開花等	・6～7月に、クリーム色の花をつける。		
<small>けつじつとう</small> 結実等	・果実は丸く、皮は厚く、熟すとやや不規則に開いて濃赤色(濃い赤色)の種子を出す。		
<small>ほか</small> その他	・「庭木の王様」とも呼ばれる端正な木で、枝葉が密について自然に樹形が整い、品のあるつややかな深緑色の葉をつける。		

〈写真〉

		
<small>じゅもく</small> 樹木 (4/3)	<small>じゅひ</small> 樹皮 (4/3)	<small>は</small> 葉の付き方 (4/3)
		
<small>は</small> 葉 (6/12)	<small>はな</small> 花 (/)	<small>かじつ</small> 果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.908.

林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.112.